

# 岐阜県の プラスチック

新事業『事業再構築雇用管理推進事業』で実態調査を開始  
青年部が海外視察旅行・香港では懇談、中国・深圳では工場視察  
岐阜県の製造品出荷額は全国14位、従業員1人あたりでは7位  
来年4月から週40時間労働制、中小企業の対応遅れる  
デザインの心ー9  
組合員の工場訪問  
事務局だより

中国を訪問し、深圳駅頭で記念撮影をした組合青年部一行



# 時代の変化へ対応策を探る

## 事業再構築雇用管理推進事業

### 事業開始し、10月から実態調査

岐阜県プラスチック工業組合は5月総会で、新事業『事業再構築雇用管理推進事業』の実施を決めたが、10月から前提となる『実態調査』を行うなど事業に着手した。この事業は8月26日に続いて、10月3日に事業推進委員会を開き、具体的な事業内容とスケジュールを決めて実施に移したもの。実態調査は全組合員企業を対象に実施することから、委員会は各組合員に『調査書の記入と回収への協力』を呼びかけている。

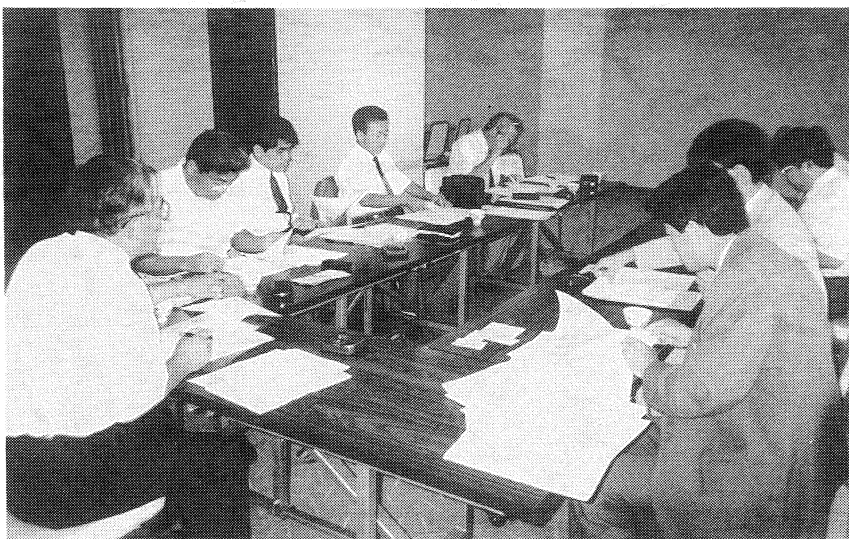
### 21世紀へのビジョンまとめ、モデル事業を実施

この新事業は、工業組合が雇用促進事業団・岐阜雇用促進センターから受託し2カ年間継続して行う。

今日、めまぐるしく経済環境が変化する中で、中小企業が安定した発展を確保するには、新規事業分野・新製品の開拓、生産体制の改善・能率向上など不断の事業再構築への努力は欠かせない。同時に雇用面の充実に、優秀な人材や若年労働者の確保と能力開発、従業員の福祉向上などに取り組む必要がある。

#### 専門家招きモデルプランを検討

とくにプラスチック成形加工業界は、採算悪化と親企業の海外事業展開、多品種小ロット化受・発注量の減少、品質や精度の高度化要求、納期の短縮化など抱える課題は山積している。したがって事業再構築雇用管理推進事業は実



事業計画を練る事業再構築雇用管理推進事業で開いた委員会

態調査によって業界が直面する現状を把握、専門家を招いて問題点を検討し①能力開発体系モデルを作成し、能力開発や教育訓練体制を整備・実施する②生産現場や管理部門の見直しや人員配置の検討を行う③余裕の生じた人員を今後の新技術・新分野への推進力として活用していくことなど21世紀へのビジョンをまとめる。さらに第2年度で、そのモデル事業を実施し、成果を広く業界に普及していくのがねらい。

# 調査は記入しやすいアンケート方式

## 「社名は無記入で、全組合員が提出を」

事業再構築雇用管理推進事業の実態調査事業は、近く調査書『プラスチック工業組合・経営者アンケート』を作成し、全組合員企業へ郵送する。調査書は8ページ、合計63問からなる。とくに会社名を無記入、全体をアンケート形式にしたので記入しやすく、組合員全員の記入と提出（11月中旬までに）がのぞまれる。

経営者アンケートによる主な調査内容は、まず社長の年齢など経営者自身の問題で、後継者の有無、正社員の平均年齢、年間所定内労働時間などを問う。

続いて経営状況、リストラ対策、受注・生産形態、設備、生産工程、原材料など生産部門についての設問。設備ではトン数別に成形機種の数と使用年数を記入してもらう。生

産工程では「金型、成形、二次加工など技術水準を同業他社と比較」したり「今後力を入れたい技術・製品面での特色」を複数回答してもらう。この他、外注、物流、新規事業についても設問している。

## 成形市場の見通しや事業方針も

人の問題は、従業員の構成にはじまり、高齢者の活用、女子の活用、外国人労働者の雇用、従業員能力開発の重要度、新規事業を展開していくための要素なども、かなり詳しく調査していく。

締めくくりは経営方針で、販売・生産・労務各方面の問題点、成形市場の見通し。最後は「社長は何歳まで現役で働くか」と「経営理念について」答えてもらう。

## モデルプランを試行

### 第2年度・成果を組合員へ普及

事業再構築雇用管理推進事業を推進する委員会には、工業組合理事と理事会社の役員ら6人また専門家委員として(財)岐阜県総合研究所の山口有次研究員、朝日大学経営学部の地代憲弘教授の二人に加わってもらった。

初委員会は8月26日、サンピア岐阜で行い、推進委員長に工業組合副理事長の日比勝次氏を選んだ後、事業計画や進め方について話し合った。第2回委員会は10月3日、ふれあい会館に岐阜雇用促進センターの柳隆所長ら関係者を招いて開き、実態調査事業の内容や調査書の取りまとめ方法などについて協議した。

今後の事業の進め方は、11月中旬をメドに実態調査書を回収し、岐阜総合研究所へ引き渡し調査内容の集計と分析をしてもらう。

続いて調査対象企業の中から10社を選び、その中から数社について専門家委員がヒヤリング調査を行う。こうした調査資料をもとに問題点を把握、事業再構築への対応策を検討し、目的の『雇用管理モデル』を策定していく。

初年度事業では、策定した雇用管理モデルをもとに『雇用管理モデル企業』を選定したり、短期的に解決可能な雇用管理問題をテーマとした『雇用管理合同相談会』を実施する予定。第2年度は『雇用管理モデル実施事業』を行う。企業を指定してモデルプランを試行してもらいその事業成果を組合員へ普及していく。

# 国際社会の動き肌に感ずる

## 青年部の海外旅行 香港と中国の深圳を視察

工業組合の青年部は毎年親睦旅行を行っているが、今年は海外視察旅行を企画し、返還迫る香港と工業化が進む中国・深圳を視察した。一行は川瀬忠雄青年部長を団長に14人で編成し、9月14日から3泊4日間にわたった視察旅行では、銀行や商社の香港駐在員から返還まであと10ヵ月に迫った香港の経済事情を聞き、中国では工業化がいちじるしい深圳経済特区（広東省深圳市）にある蛇口工業地区のプラスチック成形工場を中心に視察するなど、国際社会のめまぐるしい動きを肌感じて帰国した。

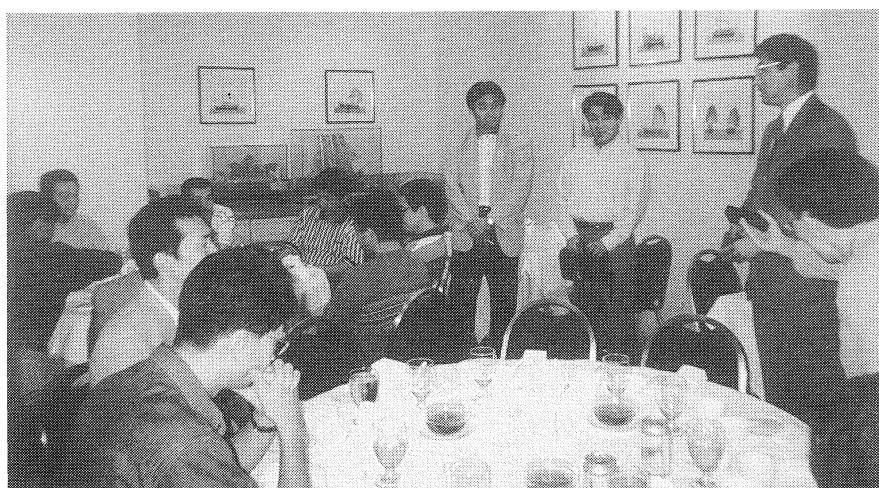
### 銀行・商社筋から 香港事情を聞く

組合青年部の香港・深圳視察団一行は、名古屋空港→香港→深圳→香港の日程で旅行、とくに香港と深圳はわずか50キロの距離、快速列車による45分の旅であった。

第1日の行事は香港市内のレストランで、広東料理による会食と香港事情についての懇談。

席に招いたアドバイザーは滋賀銀行の大隅一郎香港支店長で、株式会社エーワン香港支店の篠崎良一駐在員にも加わってもらった。

香港返還は来年7月1日、10ヵ月後に迫った事情を聞いたが、それによると「中国返還後は自治権を持つ香港特別行政区政府が新設されるが、現在の香港政庁はこうした中国政府の意向に配慮したり、返還後の



組合青年部の一行と香港事情についての懇談会

経済運営の円滑化をにらんで各種の産業政策に取り組んでいる」という。

香港は、これまで自由な経済活動の確保を優先し、港湾、通信などのインフラ整備が行き届



視察した三洋電機の蛇口工場

いていることや、低税率など規制の少なさを最大の売り物にしてきた。

ところが80年代から香港企業が、安い労働力を求めて中国に移転しはじめ、今日の香港は貿易、金融サービスは拡大しているものの、製造業は低下傾向にあるようだ。日本とよく似た製造業の空洞化現象が起き、失業率悪化に拍車がかかっている。このため「香港政庁は、もはや自由放任主義だけでは限界があるとし、返還後をにらんだ産業育成策へ踏み出している」ことなど、二人の香港駐在員から最新の香港経済事情について解説してもらった。

#### 蛇口には5万人の中国人が働く

第2日は中国入りし、第3日は深圳経済特区にある蛇口工業地区のプラスチック成形工場を視察した。蛇口は、香港にもっとも近い工業地帯。早くから香港企業や香港に拠点をもつ日本企業が直営・下請け工場を開設し、今日では5万人の中国人が働いている。

最初の視察工場は、関市・三星刃物の蛇口工場と二つの下請け協力工場。いずれも刃物類のハンドル部分を成形する成形機部門を中心に視察したが、どの工場も成形機1機に4～5人も取り囲む人海戦術で「金型からの取り出し、ゲートのカット、箱詰めなどをこなす。豊富な労働

働力に感心」させられた。

とくに協力工場である勤興實業と加威實業の有限公司は、ほとんどが台湾製らしい成形機を並べていた。型式をよく見ると、日本でいうなら15年から20年前に使用していたインジェクションばかりで「古い機械を大切に使っている」ことに一行は驚かされたという。

#### 4千人も働く三洋電機蛇口工場

続いて視察したのが、三洋の香港現地企業である三洋電機（香港）が出資してつくった三洋電機（蛇口）有限公司の工場。古い建物だが、4階建てのビル形式の工場ばかり4棟。総床面積が実に合計4万2千平方メートルもあるという。工場は操業して12年目、組立部門中心に4千人（平均年齢23歳、女子が約70%を占める）も働き、管理部門や技術指導を行う日本人はわずか33人、香港人は13人だった。

生産部門は音響、計算機、スピーカーやモーターなど部品の3事業部からなり、部品事業部に属する成形工場や音響機器の組立工場を中心に視察した。成形工場には550トンの28トンまでの中小型インジェクション33機のほか、押出機などもあった。機械は三菱、新潟、住友などの日本製であったが、一行の目には「一部の機械には取り出し機も付けられ、生産ラインは日本



労働力は豊富、すべて手作業で

の成形工場に近いが、機械は古い」と映った。

### 毎年10%も上昇する中国の労賃

三洋電機の蛇口工場は深圳経済特区に進出した日本企業の中でもっとも古い。このため日本からの見学者が相次ぎ、青年部が訪問した9月の第3週も大学教授とゼミの学生、ミッションや商社が多数訪れたそうだ。

こうした会社の概況説明や工場案内は竹山修次社長室長にお世話を願ったが、最後に青年部一行の質問に対し、次のように話していた。

「本社から派遣された日本人は、3年間勤めて帰国する。最初の1年は中国の気候風土に慣れることで精一杯、2年目に入って中国人気質を知ることができ、帰国する3年目に入ってよ

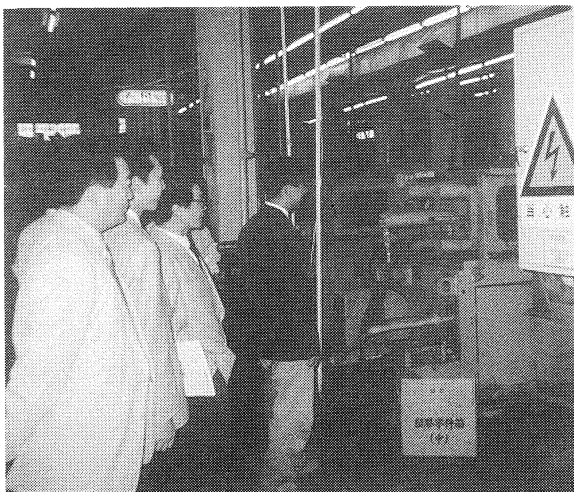
うやく中国人と交流ができるようになる」

「治安はまずまずだか、近年は香港と同じようにスリや盗難によく出会う。駐在期間が長くなると、つい油断して被害に合う」

「中国政府と25年契約で進出したが、返還後もこの形態が続くだろう。むしろ心配なのは古い建物と、毎年10%も上昇する労賃のことだ」

「香港に管理部門があるので、返還後の対応策をいろいろ考えている。返還後は香港の管理部門を深圳に移し、さらに奥地に生産工場を移した方がよいかもしれない」

なお、青年部一行は蛇口工業地区を視察した午後、快速列車で香港へ帰り、夜は有名な水上レストランでの海鮮料理や百万ドルの夜景などを楽しみ、翌日、帰国した。



機械は古いが日本製の成形機が並び、日本の生産ラインに近い三洋電機の蛇口工場

# 岐阜県の製造品出荷額は全国14位

平成6年の全国プラ生産動向・1人あたりは7位

平成6年の『全国プラスチック製品製造業』（従業員4人以上）の生産動向がこのほどまとまった。これを都道府県別にみると、ビック3はプラスチック県といわれる①愛知②大阪③埼玉の各府県の順。わが岐阜県は14位にとどまったが、従業員1人当たりの製造品出荷額は7位と付加価値額を高め、業界の底力を発揮した。

## 全国出荷規模は平成2年に戻る

平成6年は、全国的に景気後退の影響が大きく、各県とも製造品出荷額を下げた年である。全国出荷額は前年より3.4%下げて10兆3,978億3,500万円、事業所数は5.0%減の1万8,862、従業員は0.5%減の44万3,197人であった。全国的には平成4年から連続減少したため、生産規模は平成2年（1990年）当時へ後退した。

岐阜県は全国より1年遅れ、平成5年から景気後退の影響を受け、2.5%減の2,936億2,600万円。また、事業所数は1%減の571、従業員数は1万2,070人であった。このため全国順位（下の表）は14位にとどまったが、1人当たりの製造品出荷額は全国平均を86万6千円上回る2,432万7千円を記録した。これは岐阜県の業界構造が単なる成形加工ではなく、より精密成形、二次加工、組み付け加工へ進んだといえる。

順位	県名	製造品出荷額（百万円）			事業所数	前年比	従業員数	前年比
		1993年	1994年	前年比				
	（全国）	10,765,307	10,397,835	96.6%	18,862	95.0%	443,197	99.5%
1	愛知	1,520,178	1,459,468	96.0%	2,141	97.9%	50,919	99.4%
2	大阪	1,007,708	929,783	92.3%	2,514	91.5%	47,825	106.3%
3	埼玉	792,503	843,380	106.4%	1,512	92.5%	31,768	99.9%
4	茨城	614,963	571,328	92.9%	628	95.0%	19,617	95.5%
5	静岡	543,976	551,280	101.3%	965	98.4%	23,460	101.6%
6	滋賀	493,260	484,210	98.2%	272	96.5%	14,483	97.4%
7	神奈川	500,336	463,138	92.6%	952	93.6%	21,703	95.7%
8	栃木	513,420	456,930	89.0%	649	95.3%	18,686	95.9%
9	三重	383,830	421,196	109.7%	291	95.1%	11,212	105.9%
10	東京	419,177	370,885	88.5%	1,707	90.9%	21,835	95.1%
11	兵庫	363,537	316,472	87.1%	488	80.9%	13,128	87.3%
12	千葉	305,822	301,924	98.7%	535	95.7%	12,949	101.3%
13	群馬	322,740	301,131	93.3%	600	91.9%	12,925	95.9%
14	岐阜	301,185	293,626	97.5%	571	99.0%	12,070	102.5%
15	岡山	233,662	229,038	98.0%	238	97.1%	7,394	104.9%
16	広島	227,463	204,146	89.7%	330	98.5%	9,973	96.8%
17	福岡	180,379	167,142	92.7%	319	100.0%	8,779	97.0%
18	奈良	168,125	165,595	98.5%	415	100.2%	7,795	98.6%
19	長野	162,494	162,732	100.1%	433	101.4%	9,045	103.3%
20	富山	167,863	158,473	94.4%	253	96.2%	8,140	97.0%

## 来年4月から週40時間労働制

# 中小企業は対応遅れ、先送り求める

## 大手との格差が一段と開く不安も

平成9年4月1日から『週40時間労働制』が全面適用される。中小企業の多くは背景に景気の低迷もあって対応が遅れ、実施の先送りを求める動きもあるが、時代の流れに沿い労働者に健全な環境を与え労働意欲を高めるためにも、時短と取り組み40時間労働制の実現が要請されている。

### 来年3月末に猶予措置が切れる

週40時間制への移行は平成5年（93年）の労働基準法改正で決まったもので、中小企業はこれまで猶予措置（週44時間制）が認められ、平成9年3月末には期限切れとなる。ところが完全実施へ半年後に迫ったものの、中小企業の対応が遅れている。

### 岐阜県大会で猶予措置延長決議

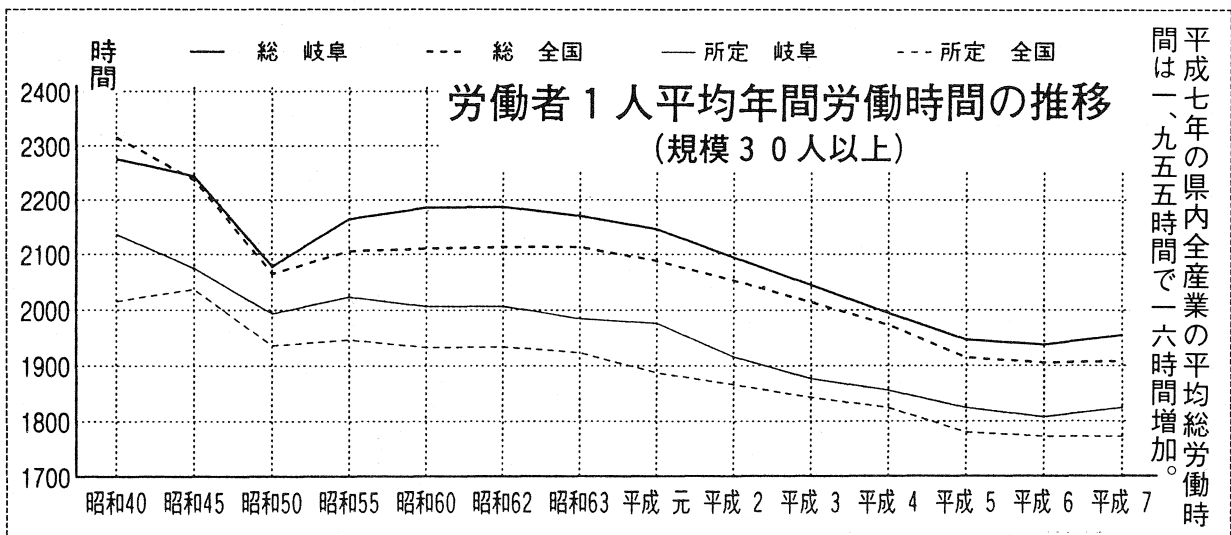
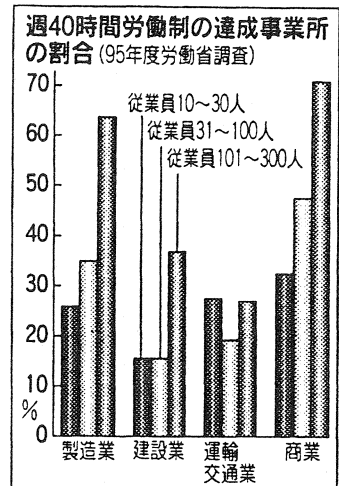
日本商工会議所が実施した全国調査によると今年の5月時点で達成済み企業は4社に1社にとどまっている。その後の調査では達成企業は増えているが、来年4月に間に合わない企業が全体の3割を超える恐れがあるという。

対応が遅れている理由は「厳しい経済環境が

続く中で、設備投資や人件費の増加に耐えられない」からで、各地の中小企業団体では実施の先送りを求める動きが活発になっている。

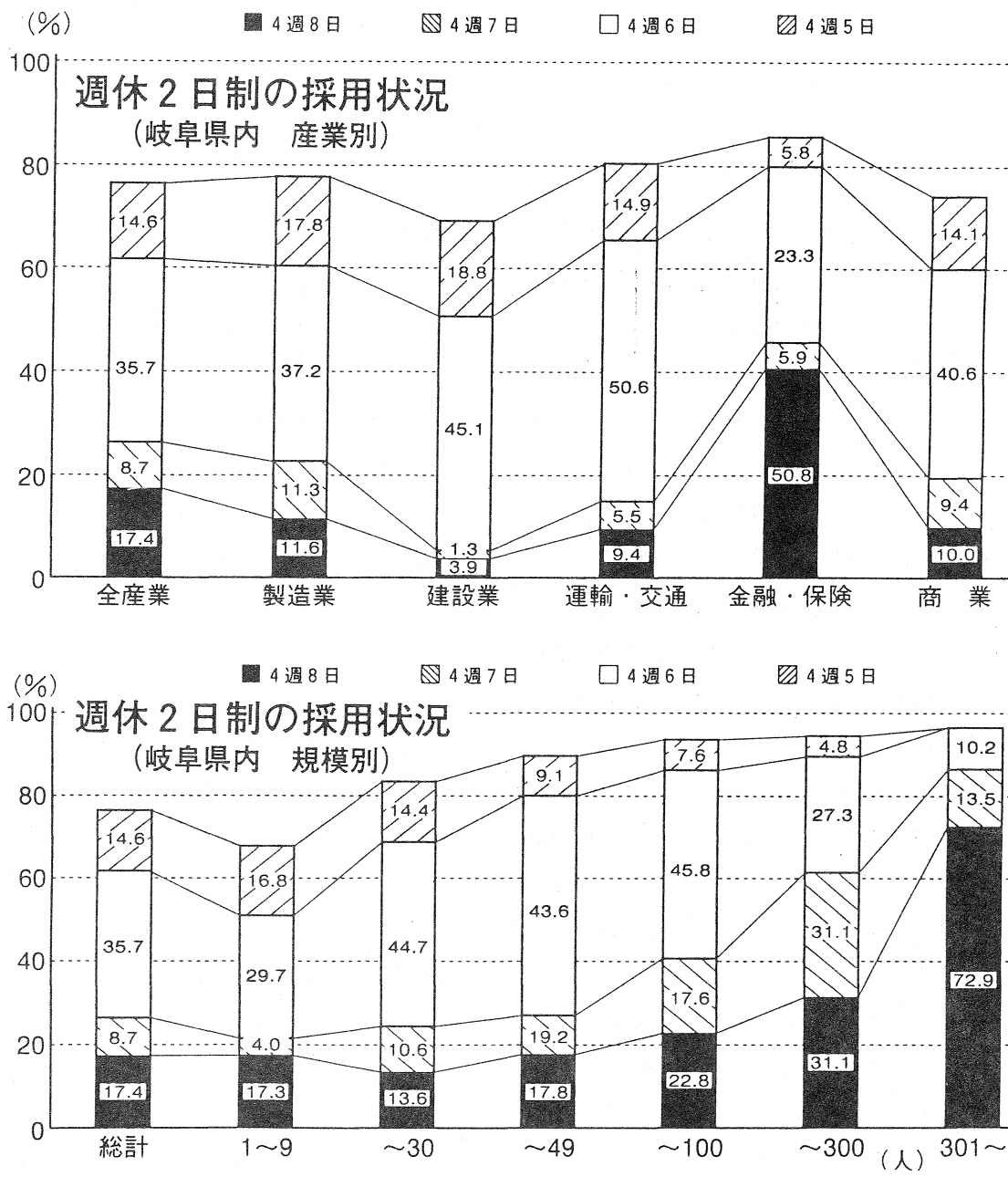
岐阜県でもさる9月24日、岐阜産業会館・文化ホールに中小企業団体の代表が集まり『中小企業問題に関する岐阜県大会』を開催し「週44時間労働制の猶予措置延長のための法改正」もしくは

「中小企業の特例措置を維持・拡大する法改正」を実現してほしいと決議したところである。こうした動きに対して通産省は





平成七年の県内製造業の完全週休二日制を採用している企業は一・六%と低く、また、県内全産業の規模別では従業員五十人以内は二十%以下にとどまっている。



中小企業を支援する立場もあり「労働省に実施の先送りを求めている」と伝えられる。

### 耐えられぬ人件費増などの負担

労働省は週40時間制、簡単にいえば完全週休2日制への移行は、労働行政10年来の目標だけに「猶予期間の再延長は念頭がない」とし、完全実施方針は変えず、支援措置の拡充などで対応する構えでいる。労働省にとっては、平成5年4月に予定していた法定労働時間の猶予措置

短縮を、中小企業団体の反対で1年間先送りした苦い経験もあり、慎重な態度をとっている。

一方、個々の中小企業にとって、達成への腰は重いものの「時短への努力は欠かせない」とし、就業規則を作成し直し、週40時間労働制に取り組む企業は数多い。中小企業者は「40時間の実現には、設備投資や人件費の増加など痛みを伴う」が「40時間を実現しないと優秀な人材が集まらず、大手との格差が一段と開く」というジレンマに陥っているのが実情である。

# デザインの心ー 9

『デザイナー×地場産業』

岐阜県プラスチックデザイン協会

現在活躍する44人のデザイナーが国内29の地場産業と連携して取り組んだ新製品開発の成果展「デザイナーと地場産業」が、東京・銀座松屋で開催された（9月）。

岐阜県の関係分では、森豪男氏（東京）とジョイントした美濃焼の“水”や“海”をイメージさせる器—黄瀬戸、織部などの地域固有の伝統釉を活用した和洋を問わない無国籍な食器シリーズを開発。これは過去に、試験場と地元業界が取り組んだ「ぎふハイテク得意技術活用研究会」の発展系でもある。飛騨の企業は、佐々木敏光氏（熊本）とファニチャー（椅子）／カイトを開発した。アセアン、中国等の安価な輸入モノが大量に出回っている現代、技術に裏付けられたオリジナリティーのあるデザインこそ日本の次の時代を担うというコンセプトと、今有り余っている間伐材の有効利用をテーマにしている。もう一件は関市の刃物である。村田稔氏（神奈川）との連携においてハサミ、ペーパーナイフを提案している。現代生活にマッチするシンプルでモダンな感覚が溢れていた。

木、漆、銅、アルミ、陶磁、和紙等の素材にみられる他県の多彩な試みについても岐阜県の事例と同様に全て地場産業—地方の小企業の仕事である。当展のコミッショナーの一人である黒川雅之氏は、『地場産業』という一つの単語の中に、現代社会における様々な意味と問題点を指摘する。今「なぜ、デザイナー×地場産業なのか」、地場産業に係わりを持つべくデザイナーにとっての必然性に関心事とは何か。

以下にそのダイジェストを紹介したい。

■小さいことは力であり、マイナーなものこそメジャーである。大きな組織も結局は優れた個人なくしてはその力が発揮できない。組織は個人の力をバックアップする仕組みに過ぎない。その際、組織の仕組みがみえやすい小企業は、優れた個人がその中にいるときその力が発揮しやすい。これからは小企業の時代である。

■大量生産は大量の消費を前提とし、無個性で均一な客が大量にいてこそ、規格化された大量生産品の生産と消費のサイクルが成立する。しかし現代は、大企業的大量生産は次第に力を失いつつある時代である。個性的な小さなマーケットに向けて製品供給する仕組みづくりを行う際、地場産業は、作り手の顔のみえる小振りな生産組織と個性的な顧客とがリンクする理想的な産業構造である。

■地場産業の多くが用いるクラフト的手法、そこに見られる“企て”“作り”“供給”するという一連の包括的行為（原初的姿）こそ、デザインの本来を見直し、窒息状態の現代デザインを救いだし、その可能性を拡大するものである。また、地場産業側もデザイナーとの共同作業において、現代の生活に密着したデザイン思想から刺激を見いだし、地方産業に往々にしてみられる下請体質、受注生産からの脱却etc、次につながる産地のあるべき姿を導く。

残念ながら今回の展示では、ユニバーサルの素材であるプラスチックを用いた試みは見られなかったが、同じ地場産業として参考にすべき一面が漂っていたようである。

（工業技術センター Y Hasegawa）

# 立体自動倉庫を備えた第二工場操業

**(株)フクシマ化学**

今回の工場訪問は、創業30周年を機会に本社工場のリニューアルと隣接地に第二工場を建設した株式会社フクシマ化学（美濃加茂市加茂野町今泉749、福島文夫社長、従業員44人、資本金1,000万円）を訪ねた。

工場は、関市と美濃加茂市を結ぶ国道248号線の中程、今泉交差点を北へ入ったところにある。業界に先駆け、関市の鋳物師屋から加茂野に成形工場を移してもう10年。この間、長引く不況を切り抜けながら順調に業績を伸ばし、今年、晴れの創業30周年を迎えたわけ。

## 信頼を得る金型の立体自動倉庫

福島さんは工場を案内しながら「低コストの時代、技術、品質、サービス、あらゆる面で競争できる企業でないと、とても生き残れない」と厳しく見通したあと「30年という節目の年を迎え、思い切った生産方式の合理化と自動化を図った」と説明する。

新装なった本社の成形工場には、中・小型機



自動倉庫のある第二工場

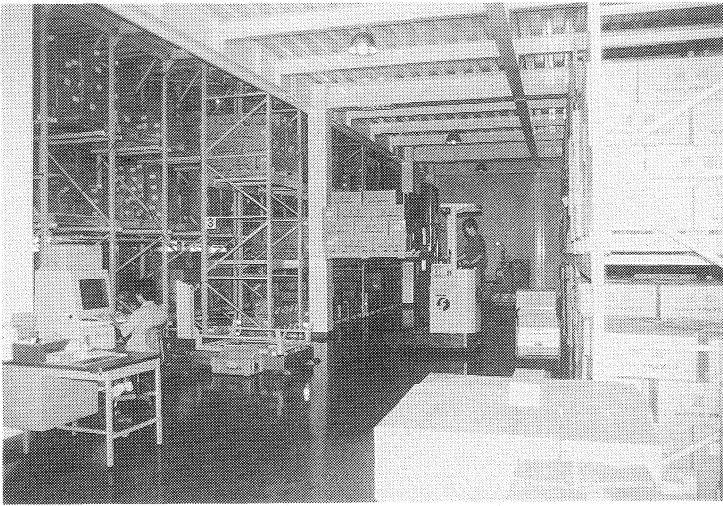
17機が整然と並び、ほとんどにロボットが取り付けられて無人操業。その成形工場の横には、新しく金型の立体自動倉庫も建てられた。なんと1ト棚が251棚もあり、福島さんは「金型は生きている。納期を短縮できるばかりか、大切に保管することにより、受注先から信頼を得るようになった」ときっぱり言い切る。

最近の成形品目は水栓部品50%、ガス器具部品20%、自動車、家具、その他の関連部品が各10%となり、不況で自動車部品が落ち込み、日用雑貨品はすっかり影を潜めたようだ。

## 製造→出荷までの一貫体制整う

第二工場は、本社工場の東側に用地3,300平方メートルを確保し、鉄骨2階建て1,389平方メートルの工場を建設した。すでに本格操業しており、1階は倉庫兼配送センター、とくに2階部分を貫いて製品の立体自動倉庫が設けられ、全社の出荷をコンピュータ管理、2階では加工、印刷、組立と製品の検査を行っている。

最後に福島さんは「新工場の完成で関市の旧工場にあった別会社ワコーも統合でき、経営のモットー「良い職場環境の中で良い製品を一貫生産する」ことができるようになった」と話す。



製品の立体自動倉庫を備えた第二工場の内部

## 事務局だより

会員と事務局を結ぶページ

### □次号に幕張メッセのプラ展視察記□

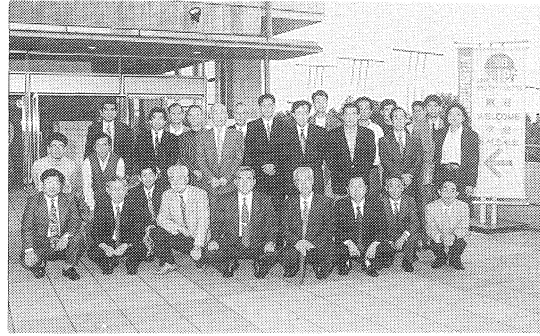
工業組合は10月13日（日）から2日間、幕張メッセで開催されました『国際プラスチックフェア（IPF）』を見学しました。1泊2日の長距離バス旅行でしたが、宿泊先が会場に近いホテルスプリングス幕張ということもあって、スケジュールを無事にこなしました。

この見本市はかつてのジャパン・プラに匹敵する国際プラスチック専門の見本市で、3年サイクルで開催されたものです。今回の出品企業は国内357社、海外248社にもものぼり、8つのパビリオンには多彩なプラスチック関連機器や技術が展示され、参加した組合員一同（日比副理事長ら30人）はその開催スケールに圧倒されたほどです。

右上の写真は、幕張メッセの会場前で参加者全員揃っての記念撮影です。なお、見本市会場内の見てある記は次号で紹介します。

### □景気は「行きつ戻りつの回復に」□

景気は「行きつ戻りつ」で、どうもはっきりしません。総選挙前の政府見通しは「緩やかな回復」と発表されていましたが、日本経済新聞社主催の『景気討論会』によりますと「行きつ



幕張メッセの会場前で

戻りつの回復で、回復への実感は薄く、減速は避けられない」と厳しく報じています。

その骨子を紹介しますと各講師は「今年度は個人消費と設備投資の民間需要が下支えする」という認識ではほぼ一致、ただし「97年度にかけて公共投資が減少に転ずることもあって、実質成長率は鈍化し、1%台になるとの見通しが大勢を占めた」とありました。これを裏付けるかのように、最近の企業倒産件数は増加傾向にあり、いま一度、経営の総点検を…。

## 岐阜県のプラスチック 1996 131号

平成8年10月15日発行

発行 岐阜市六条南2丁目11番地1号  
(岐阜産業会館4階)

電話 (058) 272-7173

FAX (058) 276-1525

岐阜県プラスチック工業組合

発行責任者 井森 秀敏

ポリエチレン

スミカセン®

エチレン酢酸ビニル共重合樹脂

エバテート®

ポリプロピレン

住友ノーブレン®

ポリスチレン樹脂

エスブライト

塩化ビニル樹脂

スミリット®

メタアクリルシート

スミペックス®

メタアクリル樹脂

スミペックス-B®

高密度ポリエチレン

スミカセンハード

熱可塑性エラストマー

住友TPE®

合成ゴムSBR

住友SBR®

合成ゴムEPR

エスプラン®

エチレン酢酸ビニル

塩化ビニル共重合樹脂

スミグラフト®



# 住友化学工業株式会社

名古屋支店

〒460 名古屋市中区錦1丁目11番18号(興銀ビル)

電話 <052> 201-7571

# 出光の石油化学製品

ポリスチレン

スチレン系耐熱樹脂

ポリカーボネート

GFPET

ポリプロピレン

高密度ポリエチレン

直鎖状低密度ポリエチレン

カルプ®

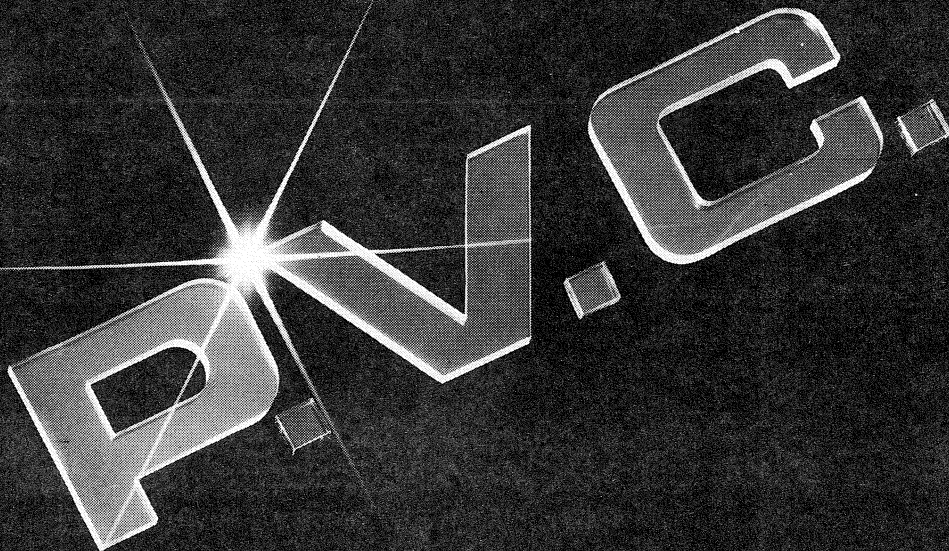


東京都千代田区丸の内3-1-1(国際ビル) 〒100 ☎03-213-9361(代)

名古屋支店 名古屋市中区栄2丁目1番地1号 日土地名古屋ビル5F 〒460 ☎052-204-6051-3

## ShinEtsu 信越PVC

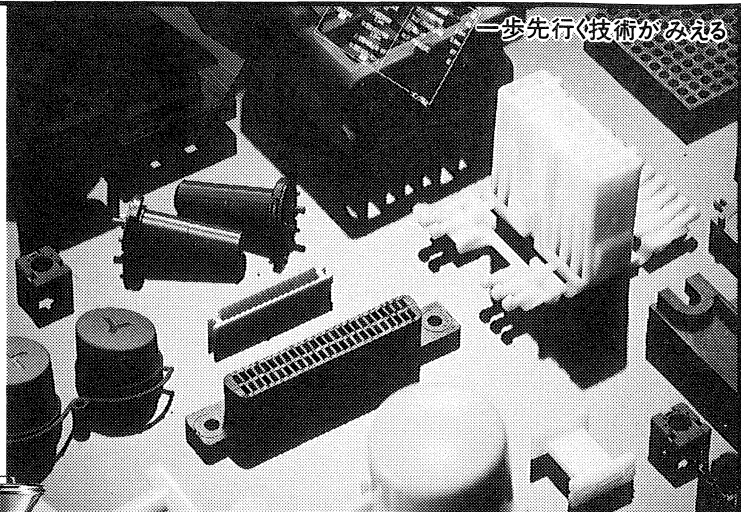
生活用品からエレクトロニクス材料まで——信越PVC



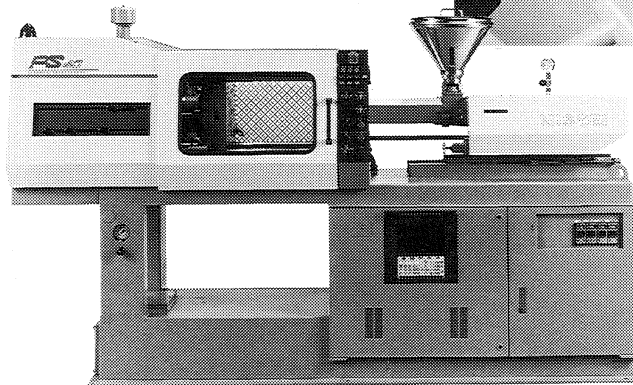
信越化学工業株式会社 名古屋支店 〒450 名古屋市中村区名駅4-27-23(名古屋三井ビル東館) ☎(052)581-0651

# 精密成形を究めると PSシリーズになる。

最新の電子コントローラを搭載し、射出性能と操作性を向上させ、FA対応においても一層の高性能化を図りました。新感覚の生産工場を実現する価値ある射出成形機、それがNISSEIのPSシリーズです。



一步先行く技術がみえる



## NISSEI

### 日精樹脂工業株式会社

名古屋営業所 / 愛知県小牧市外堀2-167 ☎0568-75-9555(代)

岡崎出張所 / 愛知県岡崎市上六名4-1-8三剛ビル1F ☎0564-52-1430

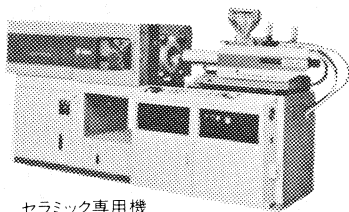
三重出張所 / 三重県津市神戸横田203-4 ☎0592-24-0716

●本社・工場・技術研究所 / 長野県坂城町南条2110 ☎(0268)82-3000(大代表)

●東京事務所 ●テクニカルセンター / 本社・相模原・岩槻・名古屋・大阪

●営業所 / 全国11ヶ所 ●出張所 / 全国20ヶ所 ●海外サービスステーション / 28ヶ所

## ハイテクノロジーに挑戦



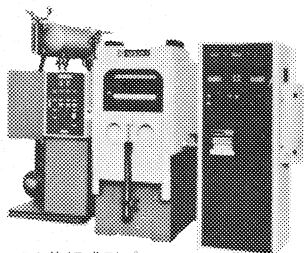
セラミック専用機

# MEIKI

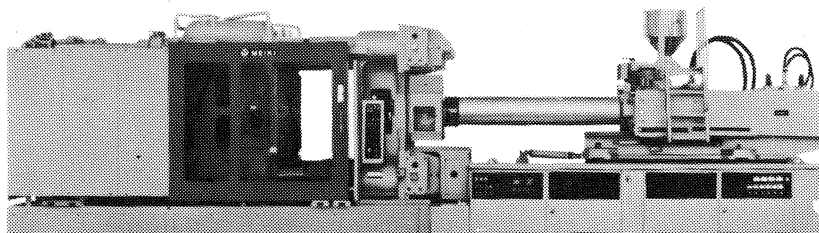
プラスチック、光ディスク、ファインセラミック射出成形機、IC基板成形プレス等、先端技術加工機を生産して、世界の名機として活躍しています。



ディスク専用機



IC基板成形プレス



プラスチック射出成形機



株式会社

## 名機製作所

本社・工場

〒474 愛知県大府市北崎町大根2 ☎0562>48-2111(代)

# 化学の、もっと大きな可能性へ。

私たちがめざすのは、新しい時代の化学会社。

よりグローバルに、よりダイナミックに、もっと大きな可能性を求めて、

三菱化学は世界の期待に応えます。

## 三菱化学

▲三菱化学株式会社 東京都千代田区丸の内2-5-2 〒100(三菱ビルディング) Telephone:03-3283-6274(ダイヤルイン)



## 生きてる素材。

三菱レイヨンのプラスチック

メタクリル樹脂 / 板状品

**アクリライト**<sup>®</sup>

メタクリル樹脂 / 射出成形材料

**アクリペット**<sup>®</sup>

ABS樹脂

**ダイヤペット**<sup>®</sup> **ABS**

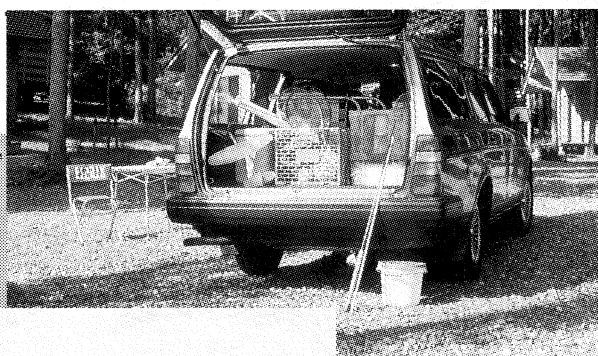
**三菱レイヨン**

東京(272)4321 / 大阪(202)2241 / 名古屋(561)6711

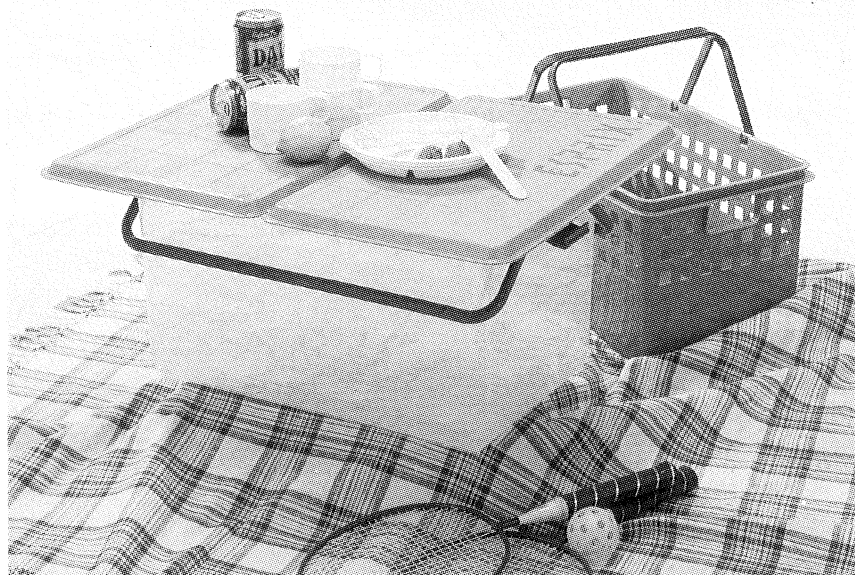
# ESPRIX EARTH SPIRIT

エスプリックス

行きはボックスとバスケットにいっぱい詰めて出発。ランチタイムにフタを開けばテーブルに早変わり。帰りは、バスケットをボックスに入れコンパクトに収納できる便利なレジャーボックスです。(フタの内側は、収納スペースになります。)



ボックスがテーブルに早変わり



ダブルボックス

 リス株式会社

岐阜プラスチック工業株式会社

岐阜プラスチックグループ

● 本社：岐阜市神田町9丁目25番地(大岐阜ビル6階)  
TEL：(058) 265-2233

● リスパック株式会社 ● リスエンジニアリング株式会社  
● リス株式会社  
● リス興業株式会社